

有田市の創生に向けて

有田市長 望月 良男

新年あけましておめでとございます。市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年中は、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。有田市は、昨年市制施行60周年を迎えました。5月1日の記念式典では、多くの皆様にご参加をいただき、これまでの歩みを振り返るとともに、さらなる未来へと向かい、新たなスタートを切る事ができました。本市を愛する温かいお気持ちにより、60周年を盛り上げていただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、9月に任期を迎えた市長選挙におきまして、無投票で当選をさせていただき、3期目の市政を担当することとなりました。市民の皆様からのご期待にこたえるべく、市長という重責を胸に刻み、皆様の声にしっかりと耳を傾ける姿勢を大切に、着実にまちづくりに取り組んでまいります。

本年は有田市にとりまして、これまで前進させてきた取り組みがより具現化し、地域への誇りと喜びを、市民の皆様とさら

らに深く共有できる年にしたいと考えております。まず、本年は新市民会館の完成を予定しています。旧市民会館に代わる新たな文化交流施設として、身近に文化芸術に触れることができる快適なホールとともに、充実した図書館を併設いたします。ホールの客席数は714席と近隣では最も多く、ゆったりとした座席で座り心地などに配慮し、また図書館は蔵書数を大幅に増やし、乳幼児からお年寄りまで来館されるすべての方々に安心して快適にご利用していただけるような施設となります。様々な可能性をもつこの複合施設が、人と人をつなぐ市民の交流の場としての役割も果たしていくことを期待しております。

また、国土交通省による国道42号有田海南道路の工事が昨年本格着工されていますが、本年は有田川左岸の野地区から対岸に向けての橋脚部が立ち上がる予定です。これからの一日も早い完成に向けて、積極的に国へ要望してまいります。そして、地方創生の推進については、

総合戦略に掲げた子育て支援をはじめ、諸施策に取り組んでまいります。特に、岬の稜線を走る風光明媚な有田みかん海道、美しい海岸と急峻な斜面に広がる矢櫃地区、太刀魚の水揚げ日本一を誇る箕島漁港、徳川御三家紀州の殿様が愛でた武家屋敷、紀伊水道に浮かぶ無人島・地ノ島を地域資源として磨きあげる「西側海岸エリアの5つのプロジェクト」を推し進めてまいります。これらの取り組みにより、多くの方に本市を訪れていただき、まちや地域の活性化を図ります。

いま私たちが取り組むべきは、人口減少にできるだけ歯止めをかけ、将来への課題に正面から対峙していくことです。そのために、これからの有田市をしっかりと見据え、市



情報分析を活かしたまちづくり

有田市議会議員 福永 広次



明けましておめでとございます。市民の皆様には、希望に満ちた初春を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、市議会に対しまして、ご理解ご協力賜り、深く感謝を申し上げます。本年は、市民の芸術・文化の拠点として新市民会館が、図書館を併設し、完成を迎える予定です。多くのお客さまにご利用いただき、有田市の新たな魅力を発信していく場となることを期待しております。

さて、昨年は石原慎太郎氏の「天才」という田中角栄氏の生き方考え方を記した本が、年間1位の書籍売り上げを記録しました。裸一貫から身を起し「日本列島改造論」を打ち立てた角栄氏は、そ

の時代の改革者でした。バイタリテイに富み、情にあふれる角栄氏の圧倒的なリーダーシップが、幅広い世代の人々に支持されましたが、その行動力は、常に情報収集をしての深い分析の結果に基づくものでした。現在有田市が取組んでいる地方創生も、地域経済分析システムの使用を推進しており、角栄氏の取組み方は今に通じるものであると思われま

今節、訪日観光客が増加しつつある中、有田市の観光資源を再発見することは肝要であり、多様性に富んだ活力ある地方創生の推進を分析するには、まず情報が必要で

私共、市議会といたしましても、市民の皆様が住んでいてよかったですと感じていただける、豊かなまちづくりのため、全力を尽くして参る所存でございます。議会改革に取り組み開かれた議会を目指して参りますので、市民の皆様も本市発展のために、力をお貸しくださいますようお願いいたします。

結びに、市民の皆様にとりまして、実り多き1年になりますことを心より祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます

- 議長 福永 広次
- 副議長 上山 寿示
- 議員 一ノ瀬 敦子
- 池田 敦城
- 岡田 行弘
- 玉木 久登
- 児嶋 清秋
- 万賀 幸雄
- 中谷 桂三
- 辻本 意典
- 堀川 明
- 生駒 三雄
- 宇野 博治
- 西口 正助
- 浜口 元司

新しい年を迎え、議員一同力を合わせ、有田市の発展のために頑張って参ります。年頭にあたり、市民の皆様方の一層のご活躍とご多幸を心からお祈りいたします。(虚礼廃止につき、皆様方への年賀状は勝手ながら失礼させていただきます。)